

第 30 回 幹 事 会

平成 18 年 12 月 21 日

日 本 学 術 会 議

配布資料

資料 1 議事次第

資料 2 出席者一覧

資料 3 非公開審議事項

資料 4 第29回幹事会議事要旨

資料 5 諸報告事項

資料 6 審議事項

参考 声明（案）学術・芸術資料保全体制検討委員会
「博物館の危機をのりこえるために」

参考 1 委員会等の運営について

参考 2 総合工学委員会の既設分科会廃止及び新分科会設置の承認のお願い

参考 3 第150回総会日程案

参考 4 平成19年度日本学術会議予算（主要事項）当初内示額

参考 5 日本学術会議における今後の予定

第30回幹事会議事次第

日 時 平成18年12月21日（木） 14:00～

議 題 I 非公開審議事項

1 委員会関係

- ・ 科学者委員会の委員の決定（提案1）
- ・ 科学と社会委員会科学力増進分科会科学技術リテラシー小委員会の委員の決定（提案2）
- ・ 国際委員会における分科会及び小分科会の委員の決定（提案3）
- ・ 分野別委員会における分科会、小委員会の設置等及び委員会等の委員の決定（提案4）
- ・ 生殖補助医療の在り方検討委員会の設置及び委員の決定（提案5）
- ・ 学術・芸術資料保全体制検討委員会の運営要綱の改正及び委員の任期の延長（提案6）

2 声 明

- ・ 学術・芸術資料保全体制検討委員会声明（参考）
「博物館の危機をのりこえるために」

II 前回幹事会以降の諸報告

III 審議事項

1 内規等の改正

- ・ 日本学術会議の運営に関する内規の一部改正（提案7）
- ・ 日本学術会議の行う国際学術交流事業の実施に関する内規の一部改正（提案8）

2 代表派遣等

- ・ 平成18年度代表派遣の変更（提案9）
- ・ インターアカデミーカウンスル（IAC）理事会への会員の派遣（提案10）

3 日本学術会議主催講演会等

- ・ 「知識社会における教師の科学的教養と教員養成」（提案11）
- ・ 環境学のフロンティア「脱温暖化社会へのシナリオ」（提案12）
- ・ 九州・沖縄地区フォーラム（提案13）

4 委員会主催シンポジウム等の開催

- ・ 生体医工学フォーラムの開催（提案14）
- ・ 公開シンポジウム「生活科学その独自性と課題」の開催（提案15）
- ・ シンポジウム「(仮題) 温暖化防止と民生用エネルギー消費の現状と将来」の開催（提案16）
- ・ シンポジウム「衛生・公衆衛生学における学術研究と個人情報保護
ー疫学研究・統計調査の円滑な推進とデータの有効活用のためにー」（提案17）
- ・ 公開シンポジウム「健康リスクとリスクコミュニケーション」の開催（提案18）

5 後援

- ・ 国内会議（提案19）

IV その他

第 30 回 幹事会（12月21日）出席者一覧

会 長	金 澤 一 郎
副会長	浅 島 誠
副会長	鈴 村 興太郎
副会長	土 居 範 久

第一部 部長	広 渡 清 吾
副部長	佐 藤 学

第二部 部長	唐 木 英 明
副部長	北 島 政 樹
幹事	鷲 谷 いづみ
幹事	山 本 雅

第三部 部長	海 部 宣 男
副部長	小 林 敏 雄
幹事	河 野 長
幹事	大 垣 眞一郎

説明者 学術・芸術資料保全体制検討委員会

委員長 青 柳 正 規

事務局 西ヶ廣 局 長

諸 報 告 事 項

第 1	前回幹事会以降の経過報告	P. 1
1	審議の依頼及び会長コメントの公表	P. 1
2	会長代理の指名	P. 1
3	審議付託等	P. 1
4	賞等の推薦	P. 1
5	会長等出席行事	P. 1
6	第 1 回ウブントゥ RCE 推進委員会への会員の派遣	P. 2
7	平成 18 年度日本・カナダ女性研究者交流事業に係る派遣者の選定結果	P. 2
8	IAP 総会等派遣報告	P. 3
9	シンポジウムの開催	P. 3
10	委員会委員の辞任	P. 4
11	逝去	P. 4
第 2	各部・各委員会等報告	P. 5
1	部会の開催とその議題	P. 5
2	幹事会附置委員会の開催とその議題	P. 5
3	機能別委員会の開催とその議題	P. 5
4	分野別委員会の開催とその議題	P. 6
5	課題別委員会の開催とその議題	P. 13
第 3	総合科学技術会議報告	P. 15
【事務局長報告】		
	IAPアレクサンドリア会合の報告	P. 16

第1 前回幹事会以降の経過報告

1 審議の依頼及び会長コメントの公表

11月30日に法務大臣及び厚生労働大臣から日本学術会議会長に対して生殖補助医療をめぐる諸問題に関する審議の依頼があった。また、同日付けで日本学術会議会長コメントが公表された。

2 会長代理の指名

会長が海外出張につき、日本学術会議法第9条第2項の規定に基づき、下記のとおり副会長を会長代理に指名した。

期 間	用 務 先	会 長 代 理
11月30日～ 12月6日	アレキサンドリア	鈴木副会長

3 審議付託等

件 名	申 請 者	審議・付託先
第96回日本病理学会総会シンポジウムの後援について	第96回日本病理学会総会会長	第二部
日本感性工学会第3回春季大会の後援について	日本感性工学会会長 第3回日本感性工学会春季大会実行委員長	第三部
日本内分泌学会創立80周年記念式典・講演会の後援について	社団法人 日本内分泌学会理事 会長	第二部
伊藤清先生ガウス賞受賞記念シンポジウムー数学の振興を考えるーの後援について	京都大学数理解析研究所所長	数理科学委員会

4 賞等の推薦

件 名	照 会 先	備 考
世界食糧賞	各部	照会中
BALZAN賞	各部	照会中

5 会長等出席行事

月 日	行 事 等	対 応 者
11月22日	[表敬訪問・意見交換] 英国特命全権大使 Sir Graham Holbrook Fry	金澤会長 西ヶ廣事務局長

6 第1回ウブントゥ RCE 推進委員会への会員の派遣について

1. 派遣期間： 平成18年12月4日～12月7日

2. 派遣者： 春日文子（第二部会員）

3. 派遣成果・内容：

- ・12月5日にパリ、UNESCO の Building on Rue Miollis で開催された、ウブントゥ連合 第1回ウブントゥ RCE 推進委員会に、推進委員会の委員である黒川前会長の代理として上記会員を派遣した。
- ・ウブントゥ連合は、2002 年ヨハネスブルグサミットの際にウブントゥ宣言に署名した、国連大学(UNU)、UNESCO、ICSU、IAU など11の国際機関により構成され、アジア学術会議(SCA)がその一署名機関である。持続可能な開発のためにグローバルな規模で科学・技術教育の強化を促進し、教育機関と科学機関との連携を図ることが宣言の骨子であり、連合の中核的活動の一つとして、地域の拠点作り(Regional Centres of Expertise: RCE)を世界的なネットワークの下で支援している。現在、世界中で12のRCEが活動中である。
- ・ウブントゥ RCE 推進委員会は、新規 RCE 申請課題をレビューし、採択の判断あるいは継続審査に当たり助言を行う役割を担い、本年4月に設立が決定された。ウブントゥ連合のうち7機関の代表者（当時）が委員として指名されている。
- ・今回の会議には代理を含む5名の委員の外、IAU、UNESCO、IUCN からのオブザーバー、事務局である UNU 高等研究所、計16名が出席した。国連大学ヒンケル学長を議長として、28の申請課題を地域別に順番に審査した。UNU 高等研究所が予め申請書の要約を作成し、地域ごとに各課題の概要を説明した後、審議に移った。それぞれの地域に応じ、国連機関や研究機関との連携が助言され、あるいは活動の具体化が要請され、RCE が世界各地域で有効に実施されるよう、有意義な議論が展開された。審査の結果、一部再検討が求められたものの、大多数の課題を採択した。
- ・会議では、黒川前会長の意見を伝えるとともに、春日会員も適宜発言した。
- ・RCE の活動例については、来年6月の SCA 合同シンポジウムでも紹介する方向で準備を進めているところである。

7 平成18年度日本・カナダ女性研究者交流事業に係る派遣者の選定結果

派遣者： 川岸 万紀子（独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構）
福田 公子（首都大学東京大学院）

派遣期間： 平成19年1月～3月に1週間から10日間程度

なお、派遣に係る旅費については文部科学省が負担する。

8 IAP 総会等派遣報告

IAP 総会等派遣報告（16 p 参照）

- 1 派遣期間 平成18年12月1日（金）～6日（水）
- 2 派遣員 金澤一郎（会長）、土居範久（副会長）、高橋桂子（連携会員）、西ヶ廣局長他
- 3 派遣先 アレキサンドリア（エジプト）
- 4 会議内容
 - (1) 執行委員会
総会に諮る議案等について事前に報告・審議
 - (2) 国際会議
「数学」、「物理学」、「生命科学」、「地球科学」、「科学と社会」の分野について、それぞれ講演及び討論
 - (3) 総会
 - ① 共同議長(Yves Quere)より、これまでの13年間のIAP活動について報告
 - ② IAP 事務局長より活動・財政等報告(2004-2006)
 - ③ IAP 諸プログラム等報告
 - ④ 地域ネットワーク報告
 - ⑤ 暫定定款及び手続規則の承認
 - ⑥ IAP「戦略計画」(Strategic Plan)(2007-2009)の承認
 - ⑦ 共同議長の選出
 - ⑧ 執行委員国の選出

9 シンポジウムの開催について

「エネルギーと地球温暖化に関するシンポジウム」

主催：日本学術会議 共催：IAC (InterAcademy Council)

後援：国際連合大学、国際連合大学高等研究所

開催日：平成18年12月16日（於：国際連合大学）

主な講演者

茅陽一（地球環境産業技術研究機構副理事長・研究所長）

Steven Chu (IAC スタディパネル共同議長)

山地憲治（3部会員）他

概要

シンポジウムは、金澤会長及び安井至国連大学副学長の挨拶で始まり、午前には1997年ノーベル物理学賞受賞者であるSteven Chu氏や茅陽一（地球環境産業技術研究機構副理事長・研究所長）氏の基調講演、エネルギーと地球温暖化に関する検討委員会委員長である山地会員やIACスタディパネルメンバーによるパネルディスカッションが行われ、111人の参加者があった。シンポジウム終了後、IACスタディパネル及び上記委員会関係者等の専門家によるIACエネルギーワークショップが開催され、活発な意見交換が行われた。

10 委員会委員の辞任

日本学術会議会則第 28 条第 2 項の規定により、下記委員会等に所属していた委員の辞任が同委員会において承認されましたので、報告します。

第 20 期 法学委員会「法における公と私」分科会

町野 朔（平成 18 年 12 月 1 日付）

地球惑星科学委員会国際対応分科会

海部 宣男（平成 18 年 12 月 6 日付）

地球惑星科学委員会地球・人間圏分科会

鶴田 浩一郎（平成 18 年 12 月 11 日付）

日本学術会議中部地区会議会員

三田 一郎（平成 18 年 11 月 17 日付）

国際委員会アジア学術会議分科会

榊 佳之（平成 18 年 11 月 27 日付）

11 逝去

小 杉 健 郎（平成 18 年 11 月 26 日）

（連携会員 物理学）

第2. 各部・各委員会等報告

1 部会の開催とその議題

(1) 第一部拡大役員会 (第8回) (12月14日)

- ①人文社会系における国際活動について ②第17回AASSREC総会の日本開催について ③「人文社会科学と学術」分科会の今後の進め方 ④学術研究団体の位置と意義について ⑤その他

(2) 第三部拡大役員会 (第7回) (12月21日)

- ①各分野別委員会における分科会の設置状況と運営について ②地方部会について ③人材育成、若手の問題について ④その他

2 幹事会附置委員会の開催とその議題

(1) 憲章起草委員会 (第1回) (12月5日)

- ①役員の選出 ②今後の運営 ③その他

3 機能別委員会の開催とその議題

(1) 科学者委員会 (第16回) (11月21日) 持ち回り会議

- ① 日本学術会議協力学術研究団体の指定に係る必要な要件及び手続

(2) 科学者委員会 (第17回) (12月13日) 持ち回り会議

- ① 日本学術会議地域振興・九州・沖縄フォーラムの開催について

(3) 科学者委員会 学協会の機能強化方策検討等分科会 (第2回) (12月7日)

- ①前回議事要旨の確認 ②アンケート調査票及び前文 ③ヒアリング対象団体 ④ヒアリング調査項目 ⑤その他

(4) 科学者委員会 広報分科会 (第14回) (12月13日)

- ①前回 (11/8) の議事要旨
- ②今後の編集方針
 - ・表紙デザイン (人物掲載) (案)
 - ・原稿依頼・校了等進捗状況
 - ・3月号以降の特集
 - ・各コーナー執筆者の推薦
- ③和文リーフレット (対外報告シリーズ) の作成方針
- ④その他 (今後の会議日程の確認等)

(5) 科学者委員会 学術体制分科会 (第4回) (11月24日)

- ①本分科会の検討課題について ②その他

(6) 科学と社会委員会 科学力増進分科会 (第9回) (11月26日)

- ①シンポジウムについて ②その他

(7) 国際委員会 (第11回) (12月11日)

- ①加入団体の見直し ②代表派遣 ③持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議 ④アジア学術会議分科会・小分科会 ⑤ICSU Young Scientists Conference 2007 ⑥IAP総会 ⑦今後の国際委員会予定 ⑧その他

(8) 国際委員会 アジア学術会議分科会 第7回SCA会合担当小分科会

(第1回) (11月27日)

- ① 委員長選出
② 「第7回アジア学術会議」について
1) 共同プロジェクトについて
2) 合同シンポジウムについて
③ プレパラトリーミーティングについて
④ その他

(9) 国際委員会日本・カナダ女性研究者交流分科会 (第1回) (12月11日)

- ①委員長の互選 ②交流事業の概要について ③日本側派遣者の選定について
④カナダ側派遣者の受入れ準備状況について ⑤今後の交流事業の進め方について
⑥その他

4 分野別委員会の開催とその議題

第一部関係

(1) 法学委員会 「不平等・格差社会とセーフティ・ネット」分科会

(第1回) (12月1日)

- ①委員会と分科会の関係について ②役員の選出について ③今後の分科会の活動方針について ④その他

(2) 法学委員会 法史学・歴史法社会学分科会 (第1回) (12月1日)

- ①委員会と分科会の関係について ②役員の選出について ③今後の分科会の活動方針について ④その他

(3) 法学委員会 「IT社会と法」分科会 (第1回) (12月1日)

- ①委員会と分科会の関係について ②役員の選出について ③今後の分科会の活動方針について ④その他

(4) 法学委員会 ファミリー・バイオレンス分科会 (第1回) (12月1日)

- ①委員会と分科会の関係について ②役員の選出について ③今後の分科会の活動方針について ④その他

(5) 法学委員会 立法学分科会 (第1回) (12月1日)

- ①委員会と分科会の関係について ②役員の選出について ③今後の分科会の活動方針について ④その他

(6) 法学委員会 「グローバル化と法」分科会 (第1回) (12月1日)

- ①委員会と分科会の関係について ②役員の選出について ③今後の分科会の活動方針について ④その他

(7) 法学委員会 「リスク社会と法」分科会 (第1回) (12月1日)

- ①委員会と分科会の関係について ②役員の選出について ③今後の分科会の活動方針について ④その他

(8) 法学委員会 IALS分科会 (第2回) (12月1日)

- ①委員会と分科会の関係について ②今後の分科会の活動方針について ③国際会議派遣について ④その他

(9) 法学委員会 法学系大学院分科会 (第2回) (12月1日)

- ①委員会と分科会の関係について ②今後の分科会の活動方針について ③その他

(10) 法学委員会 「法における公と私」分科会 (第1回) (12月1日)

- ①委員会と分科会の関係について ②役員の選出について ③今後の分科会の活動方針について ④その他

(11) 政治学委員会 政治理論分科会 (第1回) (12月2日)

- ①委員の選出について ②政策課題について ③その他

(12) 政治学委員会 政治思想分科会 (第1回) (12月2日)

- ①委員の選出について ②政策課題について ③その他

(13) 政治学委員会 比較政治分科会 (第1回) (12月2日)

- ①委員の選出について ②政策課題について ③その他

(14) 政治学委員会 政治史分科会 (第1回) (12月2日)

- ①委員の選出について ②政策課題について ③その他

(15) 政治学委員会 行政学・地方自治学分科会 (第1回) (12月2日)

- ①委員の選出について ②政策課題について ③その他

(16) 政治学委員会 国際政治分科会 (第1回) (12月2日)

- ①委員の選出について ②政策課題について ③その他

(17) 政治学委員会 政治過程分科会 (第1回) (12月2日)

- ①委員の選出について ②政策課題について ③その他

(18) **政治学委員会** (第5回) (12月2日)

①分科会と委員会について ②その他

(19) **心理学・教育学委員会 心理学教育プログラム検討分科会** (第2回) (12月7日)

①心理学教育カリキュラム(案)の審議 ②イノベーション推進検討委員会への分科会提案の説明・審議 ③国家資格問題に関わる分科会としての進め方について ④その他

(20) **社会学委員会 メディア・文化研究分科会** (第1回) (12月8日)

①役員の選出 ②委員の追加・補充等 ③事業計画 ④関連学協会との連携 ⑤その他

(21) **地域研究委員会・環境学委員会合同 IHDP分科会** (第4回) (12月9日)

①新委員の紹介 ②ワークショッププログラムの紹介 ③北京会議(ESSP)の報告及び対応すべき事項の議論 ④AASSREC 対応の活動 ⑤Core Science Projects 等に対応する年度内の活動の報告と討論 ⑥IHDP への会費納入を推進する件について ⑦その他

(22) **社会学委員会 社会福祉学分科会** (第2回) (12月18日)

①分科会の活動方針及び活動内容について ②シンポジウムの企画について ③その他

(23) **地域研究委員会 人文・経済地理と地域教育(地理教育を含む)分科会**

(第3回) (12月18日)

①分科会の連携について ②シンポジウム計画 ③その他

(24) **地域研究委員会 人類学分科会** (第4回) (12月18日)

①分科会の連携について ②シンポジウム計画 ③その他

(25) **地域研究委員会 地域情報分科会** (第3回) (12月18日)

①地域情報のデータベース、共有化システム、検索・表示システムについて ②その他

(26) **社会学委員会 少子高齢社会分科会** (第2回) (12月20日)

①今後の活動の進め方 ②第1回シンポジウムについて ③その他

第二部関係

(1) **基礎生物学委員会・応用生物学委員会合同 生態科学分科会**

(第3回) (11月24日)

①鷲谷いづみ会員からの報告について ②日本学術振興会学術システム研究センターにおける生態・分類・進化学関係の動向調査についての報告及び議論について ③今後の運営方針及び本分科会での検討事項について ④その他

- (2) 基礎生物学委員会・応用生物学委員会合同 動物科学分科会
(第1回) (11月27日)
①委員長、副委員長、幹事の選出について ②その他
- (3) 基礎生物学委員会・応用生物学委員会合同 生物科学分科会
(第1回) (11月27日)
①委員長、副委員長、幹事の選出について ②その他
- (4) 基礎生物学委員会・応用生物学委員会合同 自然人類学分科会
(第1回) (11月27日)
①委員長、副委員長、幹事の選出について ②その他
- (5) 基礎生物学委員会・応用生物学委員会合同 生物学教育分科会
(第1回) (11月27日)
①委員長、副委員長、幹事の選出について ②その他
- (6) 健康・生活科学委員会 生活科学分科会 (第3回) (11月28日)
①シンポジストの最終決定について ②シンポジウム参加依頼を出す関係学会先の決定について ③シンポジウムに向けてのその他具体的準備事項の確認について ④その他
- (7) 農学委員会 農芸化学分科会 (第2回) (11月29日)
①今後の活動方針について ②学協会との連携について ③その他
- (8) 臨床医学委員会 身体機能回復分科会 (第2回) (12月1日)
①副委員長、幹事の選出について ③今後の活動について ④岡野委員からの報告 ⑤その他
- (9) 生産農学委員会 人と動物の関係分科会 (第3回) (12月1日)
①水産庁からの検討要請課題「捕鯨の倫理」の取扱について ②他の検討課題の優先順位の決定について ③その他
- (10) 臨床医学委員会 救急・麻酔分科会 (第2回) (12月4日)
①今後の活動方針について (全国アンケート調査) ②その他
- (11) 健康・生活科学委員会・歯学委員会合同 禁煙社会の実現分科会
(第5回) (12月4日)
①対外報告等について ②シンポジウムについて ③その他
- (12) 臨床医学委員会・薬学委員会合同 臨床試験・治験推進分科会
(第3回) (12月5日)
①新委員の紹介 ②治験に関する国側の対応 (医薬品医療機器総合機構審査役 池

田正行 先生) ③治験に関するその他の方からの意見 ④その他

(13) 臨床医学委員会 感覚器分科会 (第3回) (12月5日)

①感覚器医学ロードマップについて ②シンポジウムについて ③その他

(14) 生産農学委員会 農学教育分科会 (第3回) (12月6日)

①農学教育の課題と今後の方策について (各委員の分担課題の決定を計画)
②その他

(15) 健康・生活科学委員会 看護学分科会 (第3回) (12月7日)

①看護学分科会の方向性について ②その他

(16) 基礎医学委員会 免疫学分科会 (第2回) (12月10日)

①今後の活動について ②その他

(17) 基礎生物学委員会・応用生物学委員会・心理学・教育学委員会合同

行動生物学分科会 (第1回) (12月11日)

①委員長、副委員長、幹事の選出について ②その他

(18) 臨床医学委員会 腎・泌尿・生殖分科会 (第1回) (12月11日)

①委員長、副委員長、幹事の選出について ②今後の活動方針について ③その他

(19) 基礎生物学委員会・応用生物学委員会合同 自然史・古生物学分科会

(第2回) (12月12日)

①標本収蔵研究体制高度化の検討について ②博物館制度の検討について ③自然史教育の課題について ④その他

(20) 臨床医学委員会 障害者との共生分科会 聴覚障害者との共生小委員会

(第1回) (12月12日)

①今後の活動について ②その他

(21) 生産農学委員会・基礎医学委員会・薬学委員会合同 トキシコロジー分科会

(第1回) (12月13日)

①委員長、副委員長、幹事の選出について ②今後の活動について ③その他

(22) 農学基礎委員会・生産農学委員会合同 C I G R分科会 (第5回) (12月13日)

①2007年以降のC I G R活動について ②C I G R関連国際会議の計画について ③代表派遣申請について ④その他

(23) 基礎医学委員会 生体医工学分科会 (第2回) (12月13日)

①幹事の選出について ②生体医工学フォーラムについて ③ロードマップについて ④その他

(24) **農学基礎委員会 農業と環境分科会** (第4回) (12月14日)

- ①対外報告書の執筆内容(目次・執筆小課題項目・執筆者)の検討について ②日程の調整について ③その他

(25) **臨床医学委員会 障害者との共生分科会** (第2回) (12月15日)

- ①その後の委員会構成の変化について ②各小委員会からの途中経過報告 ③今後の作業日程について ④その他

(26) **臨床医学委員会 放射線・臨床検査分科会** (第1回) (12月19日)

- ①委員長、副委員長、幹事の選出について ②今後の活動について ③その他

(27) **生産農学委員会 応用昆虫学分科会** (第2回) (12月19日)

- ①応用昆虫学の現状について ②応用昆虫学の今後の在り方について ③その他

第三部関係

(1) **地球惑星科学委員会** (第11回) (11月22日)

- ①地球惑星科学委員会の運営方針について ②分科会の新設について ③地球惑星科学連合大会(2007年度)ユニオンセッション提案について ④国際対応分科会の開催について ⑤地球惑星推進分科会の開催について ⑥地球惑星科学委員会主催のシンポジウムについて ⑦分科会の活動報告 ⑧その他

(2) **数理科学委員会 数理科学振興策検討分科会** (第1回) (11月25日)

- ①委員長等の選出について ②数理科学の研究状況、研究環境および研究体制、研究者養成体制について ③その問題点と可能な対策について ④本分科会の運営について ⑤その他

(3) **総合工学委員会** (第5回) (11月27日)

- ①総合工学委員会委員の確認 ②総合工学委員会の現在までの活動 ③総合工学委員会の運営及び活動方針(設置された分科会) ④分科会等の活動報告 ⑤今後、設置する分科会について ⑥第三部会、今後の活動について(人材育成、PD問題等) ⑦宇宙利用シンポジウムの主催について ⑧その他

(4) **総合工学委員会 総合工学企画分科会** (第1回) (11月27日)

- ①委員長等の選出 ②今後の活動について ③その他

(5) **物理学委員会 物性物理学・一般物理学分科会 拡大役員会** (第1回) (11月27日)

- ①今後の活動について ②その他

(6) **物理学委員会・地球惑星科学委員会・化学委員会・総合工学委員会・**

基礎生物学委員会・応用生物学委員会合同 基礎科学の大型計画のあり方と推進方策検討分科会 (第3回) (11月30日)

- ①今後の検討を具体的に進めるための課題について ②その他

- (7) 土木工学・建築学委員会 拡大役員会 (第7回) (12月4日)
 ①分科会、小委員会の委員構成について ②分科会の新規設置提案について ③各分科会の活動報告について ④その他
- (8) 土木工学・建築学委員会 学際連携分科会 (1回) (12月4日)
 ①委員長、幹事の選出 ②今後の活動方針について ③その他
- (9) 土木工学・建築学委員会 建設と社会分科会 住宅・社会基盤整備と民生用エネルギー問題に関する検討小委員会 (第1回) (12月5日)
 ①委員構成の確認 ②小委員会の目的、方針、政策提言の確認 ③イノベーション提案の報告 ④提言の内容と作成の分担 ⑤シンポジウムの企画
- (10) 機械工学委員会 生産科学分科会 (第2回) (12月5日)
 ①イノベーション25提言への対応 ②ものづくり等の名称と範囲 ③その他
- (11) 地球惑星科学委員会 国際対応分科会 (第3回) (12月6日)
 ①小委員会の開催状況等について ②平成19年度代表派遣について ③今後の分科会等の構成について ④その他
- (12) 基礎生物学委員会・物理学委員会・化学委員会・総合工学委員会・材料工学委員会合同 科学・技術の発展のための知覚情報取得技術の強化に関する検討分科会 (第2回) (12月6日)
 ①委員長・委員報告 (関連分科会報告等) ②分科会の今後の運営について (アンケート・対外報告の件) ③科学・技術の発展のための知覚情報取得技術の強化について (委員講演)
 1) 電子顕微鏡の現状と課題 (市野瀬委員)
 2) f-MRI 開発、日本とアメリカとの開発体制の違い等 (小川委員)
 3) 装置開発、日本版 EMBL 研究所について (藤吉委員)
 ④その他
- (13) 電気電子工学委員会 URSI分科会 (第3回) (12月7日)
 ①AP-RASC' 07 セッション提案 ②SPS 白書について ③AP-RASC および URSI-GA の日本開催の提案について ④各小委員会の活動報告 ⑤その他
- (14) 基礎生物学委員会・臨床医学委員会・物理学委員会・総合工学委員会・機械工学委員会・電気電子工学委員会合同 重力加速度依存現象の科学・生命科学検討分科会 (第1回) (12月11日)
 ①委員長等の選出 ②今後の活動について ③その他
- (15) 地球惑星科学委員会 地球・人間圏分科会 (第4回) (12月11日)
 ①分科会の目標について ②分科会の主要な課題に関する話題提供 ③その他

- (16) **地球惑星科学委員会 国際対応分科会 I G U小委員会** (第4回) (12月11日)
①小委員会の分科会への移行について ②I G Uの動静と役員について ③C C H Dへの対応について ④2014 年開催の I G U地域会議の日本招致について ⑤I Y P Eへの対応について ⑥地理オリンピックについて ⑦その他
- (17) **地球惑星科学委員会 国際対応分科会 I C A小委員会** (第1回) (12月11日)
①I C A小委員会の運営について ②I C Aモスクワ大会 (2007年8月4日ー10日) への対応について ③その他
- (18) **環境学委員会 自然環境保全再生分科会** (第2回) (12月12日)
①自然環境保全再生分科会での今後の審議と審議内容のとりまとめについて ②新しい「森林・林業基本計画」と自然環境の保全再生 (林野庁森林・林業基本計画検討室 藤江達之氏からのヒアリング・意見交換) ③その他
- (19) **数理科学委員会 数理統計学分科会** (第2回) (12月17日)
①学術会議内で検討されている経済委員会「政府統計・社会統計情報基盤整備分科会」(仮称)との連携について ②数理科学振興に関する政策的議論における統計科学の位置づけについて ③科学研究費の申請採択状況、ポスドク等の申請採択状況について ④近隣諸国の統計関連学会との協力について ⑤その他
- (20) **土木工学・建築学委員会 建設と社会分科会** (第3回) (12月18日)
①各小委員会報告 ②その他
- (21) **物理学委員会 I A U分科会** (第4回) (12月20日)
①I A U関連報告 ②太陽系天体の名称等に関する小委員会について ③各機関等からの報告 ④基礎科学の大型計画に関する検討状況について ⑤その他
- (22) **物理学委員会 天文学・宇宙物理学分科会** (第2回) (12月20日)
①今後の活動について ②その他

5 課題別委員会の開催とその議題

- (1) **ヒト由来試料・情報を用いる研究に関する生命倫理検討委員会**
(第5回) (11月24日)
①報告書案について ②その他
- (2) **地球規模の自然災害に対して安全・安心な社会基盤の構築委員会**
災害に対する社会基盤の脆弱性の評価と適正な水準と配備に関する検討分科会
(第5回) (11月25日)
①報告書の内容及び執筆分担について ②その他
- (3) **科学者コミュニティと知の統合委員会 役員会** (第4回) (11月27日)
①報告書の構成について ②今後の進め方について ③その他

- (4) 地球規模の自然災害に対して安全・安心な社会基盤の構築委員会
災害軽減のための社会システムと危機管理の在り方の検討分科会
(第5回) (11月30日)
①報告書の内容及び執筆分担について ②その他
- (5) 地球規模の自然災害に対して安全・安心な社会基盤の構築委員会 拡大役員会
(第6回) (12月1日)
①各分科会からの報告 ②報告書骨子案について ③その他
- (6) 科学者コミュニティと知の統合委員会 役員会 (第5回) (12月13日)
①報告書の構成及び執筆分担について ②その他
- (7) エネルギーと地球温暖化に関する検討委員会 (第3回) (12月16日)
①シンポジウム及びIACワークショップについて ②その他

第3 総合科学技術会議報告

1 専門調査会

＊第4回 基本政策推進専門調査会 12月18日

- (1) 科学技術の振興及び成果の社会への還元に向けた制度改革について（案）
- (2) その他

＊第39回 生命倫理専門調査会 12月19日

- (1) 生命倫理専門調査会のこれまでの経緯と今後の進め方について
- (2) ヒトES細胞の樹立及び使用に関する指針改正案について

2 総合科学技術会議有識者議員会合

- ・ 12月 6日
- ・ 12月14日 ＊ 会長出席
- ・ 12月20日

審 議 事 項

(要綱等の改正)

- 提案 7 日本学術会議の運営に関する内規の一部改正 P. 1
- 提案 8 日本学術会議の行う国際学術交流事業の実施に関する内規の一部改正 P. 3

(派遣)

- 提案 9 平成 18 年度代表派遣の変更 P. 8
- 提案 10 インターアカデミーカウンスル (IAC) 理事会への会員の派遣 P. 10

(日本学術会議主催公開講演会等)

- 提案 11 「知識社会における教師の科学的教養と教員養成」の開催 P. 13
- 提案 12 環境学のフロンティア「脱温暖化社会へのシナリオ」の開催 P. 15
- 提案 13 地域振興・九州・沖縄地区フォーラム
「若手研究者の今日、明日、そして未来の夢」の開催 P. 17

(委員会主催シンポジウム)

- 提案 14 生体医工学フォーラムの開催 P. 18
- 提案 15 公開シンポジウム「生活科学その独自性と課題」の開催 P. 20
- 提案 16 シンポジウム「(仮題) 温暖化防止と民生用エネルギー消費の現状と未来」
の開催 P. 22
- 提案 17 シンポジウム「衛生・公衆衛生学における学術研究と個人情報保護
一疫学研究・統計調査の円滑な推進とデータの有効活用のために一」 P. 24
- 提案 18 公開シンポジウム「健康リスクとリスクコミュニケーション」の開催 P. 25

(後援)

- 提案 19 国内会議の後援 P. 27

7	
幹事会	30

提 案

日本学術会議の運営に関する内規の一部を改正する決定案

- 1 提 案 者 浅島副会長（組織運営担当）
- 2 議 案 標記について、別紙案のとおり決定すること。
- 3 提案理由 定足数算出の基礎数から除外する者の要件について規定するため。

日本学術会議の運営に関する内規（平成１７年１０月４日日本学術会議第１回幹事会決定）の一部を次のように改正する。
次の表により、改正前欄に掲げる規定をこれに対応する改正後欄に掲げる規定の傍線を付した部分のように改める。

改 正 後	改 正 前
(定足数) 第２１条 法第２４条第３項並びに会則第２６条及び第３１条並びに前条において準用する法第２４条第１項の規定の適用については、<u>海外赴任者（海外に居所を有し、現に海外に在る者）、公務出張者、災害又は不測の事故で出席できない者及び入院中の者を、構成員の四分の一を上限として除外する。この場合の公務出張者とは、その職務に関連して会長から出張命令を受けた者又は所属機関等の長から一週間以上の出張命令を受けた者をいい、除外する期間は、当該出張命令を受けた期間に限る。</u>	(定足数) 第２１条 法第２４条第３項並びに会則第２６条及び第３１条並びに前条において準用する法第２４条第１項の規定の適用については、海外出張者を除外する。この場合の海外出張者とは、その職務に関連して会長から出張命令を受けた者をいい、除外する期間は、当該出張命令を受けた期間に限る。

附 則

この決定は、決定の日から施行する。

8	
幹事会	30

提 案

日本学術会議の行う国際学術交流事業の実施に関する内規
の一部を改正する決定案

提 案 者 国際委員会委員長

議 案 標記について、別紙案のとおり決定すること。

提案理由 加入国際学術団体に関する調査を行うに当たり、日本学術
会議の行う国際学術交流事業の実施に関する内規を改正する必要
があるため。

※ 日本学術会議の行う国際学術交流事業の実施に関する内規

第12条 会長は、国際委員会に対して、加入国際学術団体を見直すため
に、第3条から第5条までに規定する要件に関して様式第2に定める調
査表をもって調査させることができる。

2 前項の調査は、原則3年に1度行うものとする。

日本学術会議の行う国際学術交流事業の実施に関する内規（平成17年10月4日日本学術会議第1回幹事会決定）の一部を次のように改正する。
次の表により、改正前欄に掲げる規定の傍線を付した部分をこれに対応する改正後欄に掲げる規定の傍線を付した部分のように改める。

改 正 後

様式第2（第12条関係）

加入国際学術団体に関する調査表

受 付		整理番号	
※	平成 年 月 日	※	※

1 国際学術団体に関する事項

名称	和文					
	欧文		(略 称)			
学術会議加入年			年			
団体の性格			非政府的（該当する 該当しない）		非営利的（該当する 該当しない）	
内規第3条第3号の組織構成該当条項			ア イ ウ エ	ア以外に該当する場合「複数の専門分野にわたる」ことを示す部及び分野別委員会名	分野別委員会 分野別委員会 分野別委員会 分野別委員会	
法人登録地						
事務局所在地						
主な役員	役職名		国 籍 ()	選出方法	任 期 (年)	
			国 籍 ()		任 期 (年)	
			国 籍 ()		任 期 (年)	
加入国数及び主要加入国名 ※主要加入国は10ヶ国						
主要加入団体						
個人会員数			人			

改 正 前

様式第2（第12条関係）

加入国際学術団体に関する調査表

受 付		整理番号	
※	平成 年 月 日	※	※

1 国際学術団体に関する事項

名称	和文					
	欧文		(略 称)			
学術会議加入年			年			
団体の性格			非政府的（該当する 該当しない）		非営利的（該当する 該当しない）	
内規第3条第3号の組織構成該当条項			ア イ ウ エ	ア以外に該当する場合「複数の専門分野にわたる」ことを示す部及び分野別委員会名	分野別委員会 分野別委員会 分野別委員会 分野別委員会	
法人登録地						
事務局所在地						
主な役員	役職名		国 籍 ()	選出方法	任 期 (年)	
			国 籍 ()		任 期 (年)	
			国 籍 ()		任 期 (年)	
主要加入国 (10か国)						
主要加入団体						
個人会員数			人			

現在学術会議以外で我が国からナショナルメンバーとして加入している団体		有（団体名） ・ 無	
		〈ある場合〉 分担金負担：有（金額） ・無 投票権：有（数） ・無	

2 国際学術団体活動状況

総会・学術研究集会への対応実績 過去10年間	開催年	平成 年	平成 年	平成 年	平成 年	平成 年
	会議名					
	開催地	国市	国市	国市	国市	国市
	参加国数	か国	か国	か国	か国	か国
	出席者数	人	人	人	人	人
	日本人参加者	人	人	人	人	人
	学術会議による代表派遣（氏名）	有（ ） 無	有（ ） 無	有（ ） 無	有（ ） 無	有（ ） 無
	当該会議の学術会議共催・後援の有無					
出版物	1 定期的（年 回） 主な出版物名 2 不定期（ ） 主な出版物名					
学術に関する国際機関等の提唱で行った活動（過去5年間）	有（具体的内容） ・ 無					
学術に関する国際機関等への提言（過去5年間）	有（具体的内容） ・ 無					
国際協力事業への参加又は実施（過去5年間）	有（具体的内容） ・ 無					
全世界（地域）的研究課題への取り組み（過去5年間）	有（具体的内容） ・ 無					
発展途上国への対応（過去5年間）	有（具体的内容） ・ 無					
関係学術分野の動向と今後の重要課題	（具体的）					

現在学術会議以外で我が国からナショナルメンバーとして加入している団体		有（団体名） ・ 無	
------------------------------------	--	------------------	--

注 1 国際学術団体の定款等を資料として添付してください。
2 ※印欄は記入不要です。

2 国際学術団体活動状況

総会・学術研究集会への対応実績 過去10年間	開催年	平成 年	平成 年	平成 年	平成 年	平成 年
	会議名					
	開催地	国市	国市	国市	国市	国市
	参加国数	か国	か国	か国	か国	か国
	出席者数	人	人	人	人	人
出版物	1 定期的（年 回） 主な出版物名 2 不定期（ ） 主な出版物名					
学術に関する国際機関等の提唱で行った活動	有（内 容） ・ 無					
学術に関する国際機関等への提言	有（内 容） ・ 無					
国際協力事業への参加又は実施	有（内 容） ・ 無					
全世界（地域）的研究課題への取り組み	有（内 容） ・ 無					
発展途上国への対応	有（内 容） ・ 無					
関係学術分野の動向と今後の重要課題						

3 国内における国際学術団体への対応状況 (過去10年間)

国際学術団体 役員就任状況	役職名				
	氏 名				
	任 期	年から 年まで	年から 年まで	年から 年まで	年から 年まで
国内対応委員会の対応状況					
関係国内学術研究団体名					
加入科学者数		人			

* 役員が会員又は連携会員である場合には氏名の頭に○印を付けてください。

4 加入成果 (具体的に)

学術の進歩への貢献 (国内・国際的)	(国 内)
	(国 外)
我が国が提唱し、実行された国際協力活動等	
取り組んだ主要研究テーマとその成果	
その他(加入による成果等)	

5. 添付資料

3 国内における国際学術団体への対応状況

※ 国際学術団体 役員就任状況	役職名				
	氏 名				
	任 期	年から 年まで	年から 年まで	年から 年まで	年から 年まで

* 役員が会員又は連携会員である場合には氏名の頭に○印を付けてください。

総会・学術研究集会への対応実績 過去10年間	開催年	平成 年	平成 年	平成 年	平成 年	平成 年
	会議名					
	開催地	国 市	国 市	国 市	国 市	国 市
	日本人参加者	人	人	人	人	人
	学術会議による 代表派遣 (氏名)	有 () 無	有 () 無	有 () 無	有 () 無	有 () 無
	当該会議の学術会議共 催・後援の有無					
関係学術研究団体名						
加入科学者数		人				

4 加入成果

学術の進歩への貢献 (国内・国際的)	
我が国が提唱し、実行された国際協力活動等	
取り組んだ主要研究テーマとその成果	
その他	

国際委員会分科会長

氏名_____印

1 国際学術団体の定款（英文、あれば和文も）

2 国際学術団体の概要説明書（歴史、現況等）

3 国際学術団体加入ナショナルメンバー一覧

4 国際学術団体の分担金一覧（各国別カテゴリー、金額一覧）

5 国際学術団体の財務報告書（最近のもの）

6 国際学術団体の機関誌、総会記録（最近のもの）

7 その他加入による実績がわかる資料

国際委員会____分科会

委員長氏名_____

(分野別委員会) _____

委員長氏名_____

連絡先 氏名_____

所属_____

電話____（____）_____

公 印

省 略

公 印

省 略

(分野別委員会) _____

委員長氏名_____印

連絡先 氏名_____

所属_____

電話____（____）_____

9	
幹事会	30

提 案

平成18年度代表派遣の変更について

- 1 提案者 会長
- 2 議 案 標記について、別紙のとおり変更すること。
- 3 提案理由 「日本学術会議の行う国際学術交流事業の実施に関する内規」第21条第2項及び附則第3項の規定に基づくものである。

<参考>「日本学術会議の行う国際学術交流事業の実施に関する内規」(抄)

(派遣実施計画の変更等)

第21条 関係委員長は、幹事会で承認された派遣実施計画若しくは派遣者の変更をすべき事情が生じた場合は、その理由を付して速やかに会長に通知しなければならない。

- 2 会長は、前項の規定による通知があった場合は、理由を付して改めて幹事会の承認を得るものとする。ただし、やむを得ない事由により事前に幹事会の承認が得られない場合は、事後に追認を求めるものとする。

附 則

- 3 平成18年度国際学術交流代表派遣実施計画に係る代表派遣については、なお従前の例による。

別紙

会議名称	派遣期間（会期分）	開催地	派遣者	変更内容	変更理由
国際医学団体協議会（CIOMS）執行委員会 （疫学研究のための倫理に関する国際ガイドライン」作成のためのコア委員会）	平成18年10月（予定） ↓ 平成19年1月23日	ジュネーブ （スイス）	松田一郎	派遣期間の変更	主催者の都合のため
気候変動国際協同研究計画（WCRP）第19回 GEWEX科学先導委員会	1月22日～1月26日 ↓ 1月22日～1月23日	ホノルル （米国）	松本淳	派遣期間の変更	派遣者の都合のため

1 0	
幹事会	3 0

提 案

インターアカデミーカウンスル（I A C）理事会への会員の派遣について

- 1 提 案 者 国際委員会委員長
- 2 議 案 標記について、下記のとおり承認すること。
- 3 提案理由 I A C 理事会に別紙のとおり会員を派遣することとしたい。
- 4 派遣者 唐木 英明（第二部会員）

InterAcademy Council

18 August 2006

To: IAC Board Members and Observers

From: IAC Co-Chairs and Executive Director

Subject: Status Report and Next Steps

A. 2007 ANNUAL MEETING OF THE IAC BOARD

The IAC Co-Chairs have set the dates of the 2007 Annual Meeting of the IAC Board:

29-31 JANUARY 2007

Amsterdam, The Netherlands

Please enter these dates into your diary.

It is anticipated that the meeting will start on Monday, 29 January, at 17:00 hours, followed by a reception and dinner. Tuesday, 30 January, will be a full business day, followed by a dinner. Wednesday, 31 January, will also be a full business day, adjourning around 17:00 hours.

Agenda

We have an exciting agenda for the 2007 IAC Board Meeting, including the following topics:

- Status report on the IAC Study on Transitions to Sustainable Energy Systems.
- Proposed dissemination and publicity plan for release of IAC energy study report in 2007.
- Follow-up to the 2006 release of the IAC study on Women for Science
- Proposed new IAC study on sustainable water resources.
- Proposed new IAC study on global surveillance of emerging infectious diseases.
- Proposed new IAC study on the role of African universities in national systems of innovation.
- Planned IAC project on worldwide indicators of science and technology.
- IAC cooperation with partner organizations and future status of IAC secretariat

1 1	
幹事会	3 0

提案

日本学術会議主催公開講演会 「知識社会における教師の科学的教養と教員養成」の開催

1. 提案者 科学者委員会委員長
2. 議 案 標記講演会を下記のとおり開催すること。

記

1. 主 催 日本学術会議
2. 後 援 東京大学 21 世紀 COE 基礎学力研究開発センター、日本教育学会、日本教師教育学会、日本教育社会学会、日本教師教育学会、日本教育方法学会、日本物理学会等（予定）
3. 日 時 平成 1 9 年 3 月 1 2 日（月） 1 0 : 0 0 ~ 1 7 : 0 0
4. 場 所 日本学術会議講堂
5. 趣 旨
課題別委員会「教師の科学的教養と教員養成に関する検討委員会」では、これからの教員の教養と養成のあり方について、学際的な討議を重ね、具体的な政策提言をまとめている。本委員会の具体的な政策提言を公開し、これからの教師の科学的教養をどのように考えるか、教師教育政策への展望に関する議論を、講演ならびにシンポジウムとして行うことで、広く一般に公開し様々な分野からの参加者と議論することを目的とする。
6. プログラム
(委員会の開催)
1 2 : 4 5 ~ 1 3 : 4 5 教師の科学的教養と教員養成に関する検討委員会

(公開講演会プログラム)

挨拶 10時～10時15分

金澤 一郎 (日本学術会議会長、国立精神・神経センター総長)

秋田喜代美 (東京大学大学院教育学研究科教授、日本学術会議第一部会
員、教師の科学的教養と教員養成に関する検討委員会委員長)

総合司会 内田 伸子 (お茶の水女子大学副学長、日本学術会議第一部会員)

第1部 基調講演、委員会報告及びシンポジウム1 10時15分～12時45分

基調講演 10時15分～10時45分

佐藤 学 (東京大学大学院教育学研究科教授、日本学術会議第一部副部長、同委
員会副委員長)

「これからの教師教育について：国際的視点からの歴史と展望」

課題別委員会報告 10時45分～11時05分

秋田喜代美 (同上)

「教師の科学的教養と教員養成政策：委員会提言」

シンポジウム1 11時05分～12時45分

「知識社会における教師の科学的教養と教師教育への提言」

司会 三田 一郎 (神奈川大学工学部教授、日本学術会議第三部会員)

シンポジスト 内田伸子

唐木英明 (東京大学名誉教授、日本学術会議第二部部長)

佐藤勝彦 (東京大学大学院理学系研究科教授、日本学術会議第三部
会員)

氷見山幸夫 (北海道教育大学旭川校教授、日本学術会議連携会員)

(昼 課題別委員会開催 12時45分～13時45分)

第2部 シンポジウム2 14時～17時

「教師の科学的教養育成のためのこれからの教師教育政策」

司 会 村山祐司 (筑波大学大学院生命環境科学研究科教授、日本学術会議連
携会員)

話題提供者 銭谷眞美 (文部科学省初等中等教育局長 (あるいは審議官))

天野郁夫 (前国立学校財務センター教授、日本学術会議連携会員)

指定討論者 浅島 誠 (東京大学大学院総合文化研究科教授、日本学術会議副会長)
藤田英典 (国際基督教大学大学院教育学研究科教授、日本学術会議第
一部会員)

本田孔士 (大阪赤十字病院病院長、日本学術会議第二部会員)

総括・閉会挨拶 内田伸子

1 2	
幹事会	3 0

提 案

日本学術会議主催公開講演会 環境学のフロンティア「脱温暖化社会
へのシナリオ」の開催

1. 提案者 科学者委員会委員長
2. 議 案 標記講演会を下記のとおり開催すること。

記

1. 主 催 日本学術会議
2. 共 催 名古屋市
3. 日 時 平成19年3月28日（水） 13：00－17：30
4. 場 所 名古屋市鯉城ホール（名古屋市中区栄1－23－13）
5. 委員会の開催 環境学委員会を名古屋市鯉城ホール会議室において開催
6. 趣 旨

21世紀にはいり、私たちの社会は、100年というスケールで取り組まなければならない問題に直面しています。その第一は、地球温暖化への取り組みであり、脱温暖化社会へのシナリオとヴィジョンが必要とされています。地球が数億年をかけて蓄積してきた化石燃料資源の有限性の認識、温室効果による環境の変化、代替エネルギーへの転換等は、必然的に人々の生活スタイルを変え、都市・地域構造そのものの転換が促されなければなりません。

この公開講演会では、複雑な地球環境問題とは何かについて、まず、わかりやすく、その本質を把握する視座について学びます。これを踏まえて、第一線で活躍している研究者、行政、企業、NPOの皆さんに、自らの取り組みと展望について、簡潔に紹介していただきます。第二部では、これらの様ざまの取り組みが内在するポテンシャルと制約を横断的に論議し、不確実性という事象のまえに、「行動する環境学とは何か」について考察します。

多様な議論が錯綜している観のある地球温暖化問題ですが、果敢に取り組んでいる人びとからの、あついメッセージを共有し、明日の地球について考える場としたいと思います。

7. プログラム

1 3 時 0 0 分 開会の辞

1 3 時 0 5 分 地球温暖化の現状（企画責任者：大垣）

1 3 時 3 0 分 脱温暖化社会へのシナリオ（私の主張、順不同）

シナリオA：省エネルギー・ゼロエミッション（企画責任者：林）

シナリオB：水循環（企画責任者：池田）

シナリオC：森林CO₂個定（企画責任者：飯塚）

シナリオD：原子力発電（企画責任者：進士）

シナリオE：環境共生都市（企画責任者：石川）

シナリオF：エコ・デザイン（企画責任者：古川）

シナリオG：環境法政策（企画責任者：淡路）

シナリオH：環境経済：炭素税（企画責任者：淡路）

シナリオI：CO₂の地中隔離（企画責任者：今中）

シナリオJ：デジタルアース（企画責任者：碓井）

1 6 時 3 0 分—1 7 時 2 5 分

パネルディスカッション「行動する環境学：脱温暖化社会に向けて」

総合司会：環境学委員会委員長 進士五十八

パネラー：シナリオ発表者

1 7 時 3 0 分 閉会の辞

1 3	
幹事会	3 0

提 案

日本学術会議地域振興・九州・沖縄地区フォーラム
「若手研究者の今日、明日、そして将来の夢」の開催

- 1 提案者 科学者委員会委員長
- 2 議 案 標記フォーラムを下記のとおり開催すること。

記

- 1 主 催 日本学術会議
- 2 共 催 九州大学
- 3 日 時 平成19年2月8日（木）13:00～17:40
- 4 会 場 博多サンヒルズホテル（福岡市博多区吉塚本町13-55）
- 5 次 第（予定）

総合司会 今西 裕一郎（日本学術会議九州・沖縄地区会議代表幹事）

 - (1) 開会挨拶
金澤 一郎 日本学術会議会長
 - (2) 第一部 若手研究者の講演
座長：高原 淳
 - (3) 第二部 招待者の講演
座長：水田 祥代
 - (4) 第三部 パネルディスカッション
司会：伊藤 早苗
 - (5) 総括 まとめ・閉会挨拶
今西 裕一郎

1 4	
幹事会	3 0

提 案

生体医工学フォーラムの開催について

1. 提案者 基礎医学委員会委員長
2. 議 案 標記シンポジウムを下記のとおり開催すること。

記

1. 主 催 日本学術会議 基礎医学委員会 生体医工学分科会
2. 共 催 社団法人 日本生体医工学会
3. 日 時 平成19年3月5日（月）10：00～18：00
4. 場 所 日本学術会議講堂
5. 議事次第

午前：

1) 基調講演

金澤 一郎（日本学術会議会長）

柘植 綾夫（総合科学技術会議議員）（候補）

2) 拠点報告第一部

人材育成拠点報告

佐久間一郎（東京大学大学院工学系研究科教授、連携会員）

倉智 嘉久（大阪大学大学院医学系研究科教授、連携会員）

山口 隆美（東北大学大学院工学研究科教授、連携会員）（候補）

他に京都大学、東京医科歯科大学（報告者未定）

昼休み：日本学術会議 基礎医学委員会 生体医工学分科会

午後：

1) 拠点報告第二部（候補）

研究拠点報告 4分野に分類

江刺 正喜（東北大学大学院工学系研究科教授、連携会員）

山本 克之（北海道大学大学院情報科学研究科教授、連携会員）

安藤 譲二（東京大学大学院医学系研究科教授、連携会員）

公文 裕巳（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科教授）

加藤 紘（山口大学名誉教授、連携会員）

砂川 賢二（九州大学大学院医学研究院教授、連携会員）

他に京都大学、大阪大学、国立循環器センター（報告者未定）

2) 省庁からの報告 （候補）内閣府、文部科学省、経済産業省、
厚生労働省（報告者未定）

1 5	
幹事会	3 0

提 案

公開シンポジウム「生活科学その独自性と課題」の開催

1. 提案者 健康・生活科学委員会委員長
2. 議 案 標記シンポジウムを下記のとおり開催すること。

記

1. 主 催 日本学術会議健康・生活科学委員会生活科学分科会
後 援 (社)日本家政学会
2. 日 時 平成19年3月14日(水) 13:30～16:00
3. 場 所 日本学術会議講堂
4. 次 第

開催趣旨

生活科学(家政学)は、人間生活における人と環境との相互作用について人的・物的両面から研究し、生活の質の向上と人類の福祉に貢献する実践的総合科学である。現代の社会が直面する様々な課題の中から、若者の自立、食育、衣食住環境の安全性、生活経営など、生活科学に関連する今日的課題を総合的に検討するために、新体制となった第20期日本学術会議健康・生活科学委員会の中に生活科学分科会が設立された。本シンポジウムは、「家政学」において蓄積された多くの知見に加え、関連する他の学問分野からの「人間」、「人間の生活」に関する幅広い情報と視点を取り入れ、今後、生活科学がその独自性を発展させていくための課題と展望について、参加者とともに議論することを目的とする。同時に、日本学術会議と生活科学関連学協会との連携のあり方についても検討を進める起点とする。本シンポジウムにおける議論は、生活科学分科会としての今後の活動の基礎とするだけでなく、健康・生活科学委員会そして日本学術会議としての対外報告等にも資する。

13:30～13:35 開会挨拶

片山 倫子（東京家政大学家政学部服飾美術学科教授，日本学術会議
連携会員，日本学術会議健康・生活科学委員会生活科学分科
会委員長）

13:35～13:50 日本学術会議の新体制について

白澤 政和（大阪市立大学大学院生活科学研究科教授，日本学術会議
会員）

講演

オーガナイザー：片山 倫子

13:50～14:10

(1) 「生活科学＝家政学として住居学の果たす役割」

沖田 富美子（日本女子大学家政学部住居学科教授，日本学術会議連携会
員）

14:10～14:30

(2) 「日本人の食生活への生活科学（家政学・食物領域）の貢献」

渋川 祥子（聖徳大学人文学部教授，日本学術会議連携会員）

14:30～14:45

(3) 「生活科学特に食物学に期待すること」

春日 文子（国立医薬品食品衛生研究所食品衛生管理部室長，日本学術会
議会員）

14:45～15:05

(4) 「規制改革と生活経営学」

御船 美智子（お茶の水女子大学生活科学部，日本学術会議連携会員）

15:05～15:20

(5) 「生活科学の独自性をいかに発揮するか」

白澤 政和（大阪市立大学大学院生活科学研究所教授，日本学術会議会員）

15:20～15:55 質疑・応答

15:55～16:00 閉会挨拶

江澤 郁子（戸板女子短期大学学長，日本学術会議連携会員）

1 6	
幹事会	3 0

提 案

シンポジウム「(仮題) 温暖化防止と民生用エネルギー消費の現状と将来」

1. 提案者 土木工学・建築学委員会委員長
2. 議 案 標記シンポジウムを下記のとおり開催すること。

記

1. 主 催 日本学術会議土木工学・建築学委員会
2. 日 時 平成 19 年 3 月 22 日 (木) 13 : 00－17 : 00
3. 場 所 日本学術会議講堂
4. 議事次第

趣 旨 :

京都議定書における第一約束期間(2008～2012 年)が迫り、エネルギー削減はいよいよ喫緊の課題となっている。2005 年 5 月にグレンイーグルズ(英国)で開催された G 8 首脳会議では、気候変動、クリーンエネルギー、持続可能な開発が議題となり、2008 年に日本で開催予定のサミットでそのとりまとめを行うことになっている。このような温暖化とエネルギー消費の問題についての関心の高まりの中で、温暖化効果ガス削減目標への対応は、国際社会における日本の信義と先進性に係わる評価につながる。この課題における最大の問題の一つは住宅やビルでの消費を中心とする民生用エネルギーの増加傾向である。国際エネルギー機関(IEA)は建物のエネルギー効率に関する課題についてサポートするため G 8 グレンイーグルズサミットに招致された。このように、建物のエネルギー性能向上が重要課題であるとの認識は、深まり、かつ広がっている。

日本学術会議、土木工学・建築学委員会の建設と社会分科会に設けられた「住宅・社会基盤整備と民生用エネルギー問題に関する検討小委員会」では、民生用エネルギーの供給と需要の仕組みの現況について分析し、エネルギー消費削減の観点から長期的な住宅・社会基盤整備のあり方に関する検討を進めている。本シンポジウムにおいて、民生用エネルギー消費問題や温暖化防止対策の現状と将来動向、対策推進の障害などについて世界の動きを踏まえながら議論し、適切で効果的な政策提言に繋げることとしたい。

5. プログラム

・講 演 司会 : 村上 周三

(1) 趣旨説明 : 村上周三

: (日本学術会議土木工学・建築学委員会委員長、慶應義塾大学理工学部教授)
村上 周三

(2) G 8 サミットと気候変動問題 (I E A における民生部門の温暖化防止対策の最新情報)
: 村上 周三

(3) IPCC レポートにみる建築部門の温暖化防止対策
: (東北大学教授) 吉野 博

(4) 日本のエネルギー政策と民生用エネルギー

：（東京農工大学大学院教授）柏木 孝夫

(5) わが国における家庭用・業務用エネルギー消費の将来予測

：（慶應義塾大学理工学部システムデザイン工学科教授）伊香賀 俊治

他

・パネルディスカッション 司会：村上 周三

パネリスト 5 人

講演者＋中上 英俊＋国土交通省＋経済産業省 他

17	
幹事会	30

提 案

シンポジウム「衛生・公衆衛生学における学術研究と個人情報保護
ー疫学研究・統計調査の円滑な推進とデータの有効活用のためにー」

1. 提案者 臨床医学委員会委員長
健康・生活科学委員会委員長
2. 議案 標記シンポジウムを下記のとおり開催すること。

記

1. 主催 日本学術会議 臨床医学委員会・健康・生活科学委員会合同
パブリックヘルス科学分科会

2. 日時 平成 19 年 3 月 28 日（水）14：00-18：00

3. 場所 大阪国際交流センター

4. 開催趣旨

プライバシーの尊重と個人情報の保護が強調されるのにもなって、疫学研究・統計調査について、個人や行政の協力を得ることが困難になりつつある。こうした動向は、疫学研究・統計調査の精度の劣化や、研究の停滞などをもたらすおそれがある。また、政府統計資料等について、多くの研究者が多角的に活用できるようにすべきだとの指摘が強まっている。これらの問題について、パブリックヘルス科学領域での学術研究を推進するにあたって、どのような視点と方策を採るべきか、分野横断的に討議する必要があると考え、シンポジウムを企画した。

5. 分科会の開催 パブリックヘルス分科会を大阪国際交流センターにおいて開催

6. プログラム

挨拶 岸玲子（北海道大学大学院医学研科社会医学専攻予防医学講座教授 日本学術会議会員、日本学術会議基礎医学委員会・健康生活・科学委員会合同パブリックヘルス科学分科会委員長）

座長 小林章雄（愛知医科大学医学部衛生学講座教授、日本学術会議連携会員、日本学術会議パブリックヘルス分科会幹事）

實成文彦（香川大学医学部人間社会環境医学講座教授、日本学術会議連携会員、日本学術会議パブリックヘルス分科会副委員長）

報告者

山縣然太郎（山梨大学大学院医学工学総合研究部社会医学教授）

大島明（大阪府立成人病センター調査部長、日本学術会議特任連携会員）

村田勝敬（秋田大学医学部社会環境医学講座教授、日本学術会議連携会員）

圓藤吟史（大阪市立大学大学院医学研究科産業医学・都市環境医学教授、日本学術会議連携会員）

毛利一平（独立行政法人労働安全衛生総合研究所主任研究員）

笠島茂（国立保健医療科学院公衆衛生政策部行政政策室長）

中山建夫（京都大学大学院医学研究科社会医学系専攻健康情報学分野教授）

18	
幹事会	30

提 案

公開シンポジウム「健康リスクとリスクコミュニケーション」の開催

1. 提案者 健康・生活科学委員会委員長，環境学委員会委員長
2. 議 案 標記シンポジウムを下記のとおり開催すること。

記

1. 主 催 日本学術会議健康・生活科学委員会・環境学委員会合同
環境リスク分科会
共 催 第80回日本産業衛生学会
2. 日 時 平成19年4月27日（金）14：00～16：00
3. 場 所 大阪国際会議場 会議室 702
4. 次 第

開催趣旨

現代社会に住む我々は、多くの環境リスクに曝されている。特に石油化学の発展以後多くの化学物質にとり囲まれ、カネミ油症事件、ダイオキシン類、いわゆる環境ホルモンといった問題が次々と起こり、健康リスクに対する国民の不安が高まっている。これらの問題は、従来の安全か危険かという二分法ではなく、「リスク」という一種の確率の概念で捉えられるようになってきているが、一般国民の理解はまだ十分とは言えない。リスクに関する正しい知識を共有し、リスクを削減していくための手段としてのリスクコミュニケーションに関しても同様である。本シンポジウムでは、リスク社会、化学物質、放射線の健康リスクをとりあげ、どのようにリスクコミュニケーションを考えて行ったらいいのかを、主に衛生学の専門家、行政、市民と意見を交わすことを目的としている。これらのシンポジウムを通して得られた情報や資料を基にして、日本学術会議の対外報告に資する。

プログラム

14:00～14:05 開会挨拶

岸 玲子（北海道大学大学院医学研究科予防医学講座公衆衛生学分野教授，日本学術会議会員，日本学術会議健康・生活科学委員会パブリックヘルス科学分科会委員長）

講演

座長：内山 巖雄（京都大学大学院教授，日本学術会議連携会員，日本学術会議健康・生活科学委員会・環境学委員会合同環境リスク分科会委員長）

清水 英佑（東京慈恵会医科大学教授，日本学術会議連携会員）

14:05～14:35

(1) 「リスク社会を生きる知恵とは」

鈴木 晶子（京都大学大学院教育学研究科教授，日本学術会議会員）

14:35～15:05

(2) 「リスクの実体とリスクの受容：放射線はどれほど危険か」

丹羽 太貫（京都大学放射線生物研究センター教授，日本学術会議連携会員）

15:05～15:35

(3) 「曝露と健康リスク」

吉村 健清（福岡県保健環境研究所所長，日本学術会議連携会員）

15:35～15:55 質疑・応答

15:55～16:00 閉会挨拶

有菌 幸司（熊本県立大学環境共生学部教授，日本学術会議連携会員）

19	
幹事会	30

提 案

国内会議の後援

- 1 提案者 会長
- 2 議 案 後援の依頼について回答すること。
- 3 提案理由 下記の会議について、後援の依頼があり、関係する部及び委員会に審議付託した結果を下記のとおり回答することとしたい。

記

○ 後援する

名 称 等	申 請 者	審議付託先
第44回日本伝熱シンポジウム ① 主催：社団法人 日本伝熱学会 ② 会期：平成19年5月22日～25日 ③ 場所：長崎ブリックホール	社団法人 日本伝熱学会会長	第三部
第96回日本病理学会総会シンポジウム 「病理学と法医学の架橋」 ① 主催：日本病理学会 ② 会期：平成19年3月14日 ③ 場所：大阪国際会議場	第96回日本病理学会総会会長	第二部
GSC-AON2007 ① 主催：グリーン・サステイナブルケミストリーネットワーク ② 会期：平成19年3月6日～9日 ③ 場所：学術総合センター・一橋記念講堂	グリーン・サステイナブルケミストリーネットワーク会長	第三部
日本感性工学会第3回春季大会 ① 主催：日本感性工学会 ② 会期：平成19年3月16日～17日 ③ 場所：筑波大学国際会議室	日本感性工学会会長 第3回日本感性工学会春季大会実行委員長	第三部
伊藤清先生ガウス賞受賞記念シンポジウム－数学の振興を考える－ ① 主催：東京大学大学院数理科学研究科 京都大学数理解析研究所 ② 会期：平成19年1月29日 ③ 場所：東京大学大学院数理科学研究科	京都大学数理解析研究所所長	数理科学委員会

2006 年 12 月 12 日

日本学術会議幹事会メンバー各位

総合工学委員会委員長
後藤俊夫

総合工学委員会の既設分科会廃止及び新分科会設置の承認のお願い

1. 既設の「応用物理学・工学基盤分科会」の発展的廃止

総合工学委員会ではできるだけ早く活動を開始するために、本年 4 月に「応用物理学・工学基盤分科会」を設置しました。しかし、8 月末に第 2 次連携会員が選ばれた結果、本分科会の委員数は 40 名を超す規模になり、また取り扱うべき課題も多くなって、そのままの形で活動が続けることは困難になってきました。そこで本分科会を発展的に廃止し、新たに 2. で提案する「未来社会と応用物理分科会」と「工学基盤における知の統合分科会」の 2 分科会を設置したいと思います。状況をご理解のうえ、「応用物理学・工学基盤分科会」の廃止をご承認くださいますようお願い申し上げます。なお、本分科会で検討を始めていた課題は新しい 2 つの分科会が引き継いで検討を進めることになっています。

2. 新しい分科会の設置

総合工学委員会として別紙提案書にあるような分科会を新設して活動を進めたいと思いますので、ご承認くださいますようお願い申し上げます。

総合工学委員会は 105 名の委員を擁する大きな委員会なので、委員の方々に活動していただくためには相当数の分科会が必要です。また、本委員会が取り扱うべき課題は、工学系の学際・複合分野、工学全般に跨る横断的分野、更に科学技術全体に跨る分野まで多岐にわたり、他の委員会と合同で設置する分科会もいくつかあるため、今回いくつかの分科会の設置を提案させていただくことになりました。

第150回総会日程案（特別講演あり）

－ 第20期第5回 －

第1 日程表

10:00 ～ 12:00 ～ 13:30 ～ 16:30 ～					
4 月 9 日 (月)	総 会 ・ 提案事項説明 ・ 特別講演	昼休み	部 会 ・ 提案事項審議	幹 事 会	
10:00 ～ 12:00 ～ 13:30 ～ 16:30～ 17:00～					
4 月 10 日 (火)	部 会	昼休み	総 会 ・ 提案事項採決 ・ 各部長・委員長による活動 報告 ・ 自由討議	幹 事 会	
10:00 ～ 12:00 ～ 13:30 ～ 15:30～					
4 月 11 日 (水)	機能別委員会等	昼休み	課題別委員会等	(幹 事 会)	

（総会中の日程は、審議の状況により変更される場合があります。）

第2 会場

総 会……講 堂
部 会……各部会議室
幹事会……大会議室

第150回総会日程案（特別講演なし）

－ 第20期第5回 －

第1 日程表

10:00 ～ 12:00 ～ 13:30 ～ 16:30 ～					
4 月 9 日 (月)	総 会 ・ 各部長・委員長に よる活動報告 ・ 提案事項説明	昼休み	部 会 ・ 提案事項審議	幹 事 会	
10:00 ～ 12:00 ～ 13:30 ～ 16:30～ 17:00～					
4 月 10 日 (火)	部 会	昼休み	総 会 ・ 提案事項採決 ・ 自由討議	幹 事 会	
10:00 ～ 12:00 ～ 13:30 ～ 15:30～					
4 月 11 日 (水)	機能別委員会等	昼休み	課題別委員会等	幹 事 会	

（総会中の日程は、審議の状況により変更される場合があります。）

第2 会場

総 会……講 堂
部 会……各部会議室
幹事会……大会議室

平成18年12月20日

平成19年度 日本学術会議予算（主要事項）

— 当初内示額 —

（単位：千円）

事 項	前 年 度 予 算 額	平成19年度 概算要求額	平成19年度 概算査定額	対 前 年 度 比 較 増 △ 減 額	備 考
日本学術会議の運営に必要な経費	1,318,791	1,436,094	1,258,427	△ 60,364	対前年度比 95.4%
1. 審議関係費	329,182	324,058	313,391	△ 15,791	＜手当単価の引下げ等に伴う減＞
(1)分野別審議	167,393	161,642	160,364	△ 7,029	・ 分野別委員会
(2)課題別審議	33,706	34,739	33,708	2	・ 課題別委員会（10テーマ）
(3)その他の事項	128,083	127,677	119,319	△ 8,764	・ 総会、部会経費、学術研究総合調査費等
2. 国際学術交流関係費	347,951	421,809	346,605	△ 1,346	
(1)国際会議(国内開催)	118,416	127,497	92,077	△ 26,339	・ 19年度開催 8会議 ・ 20年度開催準備 8会議 ・ 会場借料等の見直しに伴う減
(2)国際分担金	96,230	102,291	108,459	12,229	・ 単位額等の変更（20団体） ・ 円安によるレート変更に伴う増 （ex. \$111→116、€136→147）
(3)アジア学術会議	31,385	42,402	31,732	347	・ 開催地（日本） ・ 日本開催に伴う増及積算見直しに伴う減
(4)G8学術会議	7,859	53,600	28,588	20,729	・ 開催地（日本） ・ 日本開催経費及び調査経費【新規】に伴う増
(5)その他の事項	94,061	96,019	85,749	△ 8,312	・ 代表派遣、二国間交流、国際シンポジウム
3. 一般事務処理経費	632,092	680,416	592,336	△ 39,756	
(1)人件費	452,465	442,786	434,310	△ 18,155	・ 定員59名→58名
(2)地方活動の充実強化	11,264	55,329	13,579	2,315	・ サイエンスカフェ実施経費（17→3地区）【新規】
(3)地域振興フォーラム	9,663	0	0	△ 9,663	
(4)その他の事項	158,700	182,301	144,447	△ 14,253	・ 一般事務費等
4. その他	9,566	9,811	6,095	△ 3,471	・ 会員推薦関係費、外部評価委員会経費

（注）計数は原則四捨五入によっているので、合計とは合致しないものがある。

○今後の予定

(1) 幹事会

- | | |
|-----------|------------------------|
| ① 第30回幹事会 | 平成18年12月21日(木) 14:00から |
| ② 第31回幹事会 | 平成19年 1月25日(木) 14:00から |
| ③ 第32回幹事会 | 平成19年 2月22日(木) 14:00から |
| ④ 第33回幹事会 | 平成19年 3月22日(木) 14:00から |
| ⑤ 第34回幹事会 | 平成19年 4月 9日(月) 総会終了後 |
| ⑥ 第35回幹事会 | 平成19年 4月10日(火) 総会終了後 |
| ⑦ 第36回幹事会 | 平成19年 4月11日(水) 委員会終了後 |
| ⑧ 第37回幹事会 | 平成19年 5月24日(木) 14:00から |
| ⑨ 第38回幹事会 | 平成19年 6月21日(木) 14:00から |
| ⑩ 第39回幹事会 | 平成19年 7月26日(木) 14:00から |
| ⑪ 第40回幹事会 | 平成19年 9月20日(木) 14:00から |
| ⑫ 第41回幹事会 | 平成19年10月10日(水) 総会終了後 |
| ⑬ 第42回幹事会 | 平成19年10月11日(木) 総会終了後 |
| ⑭ 第43回幹事会 | 平成19年10月12日(金) 委員会終了後 |
| ⑮ 第44回幹事会 | 平成19年10月25日(木) 14:00から |
| ⑯ 第45回幹事会 | 平成19年11月22日(木) 14:00から |
| ⑰ 第46回幹事会 | 平成19年12月20日(木) 14:00から |

(2) 連合部会

- ・ 平成19年 2月13日(火)

(3) 総 会

- | | |
|------------------------------|----------|
| ① 平成19年 4月 9日(月) から11日(水) まで | [春の定例総会] |
| ② 平成19年10月10日(水) から12日(金) まで | [秋の定例総会] |